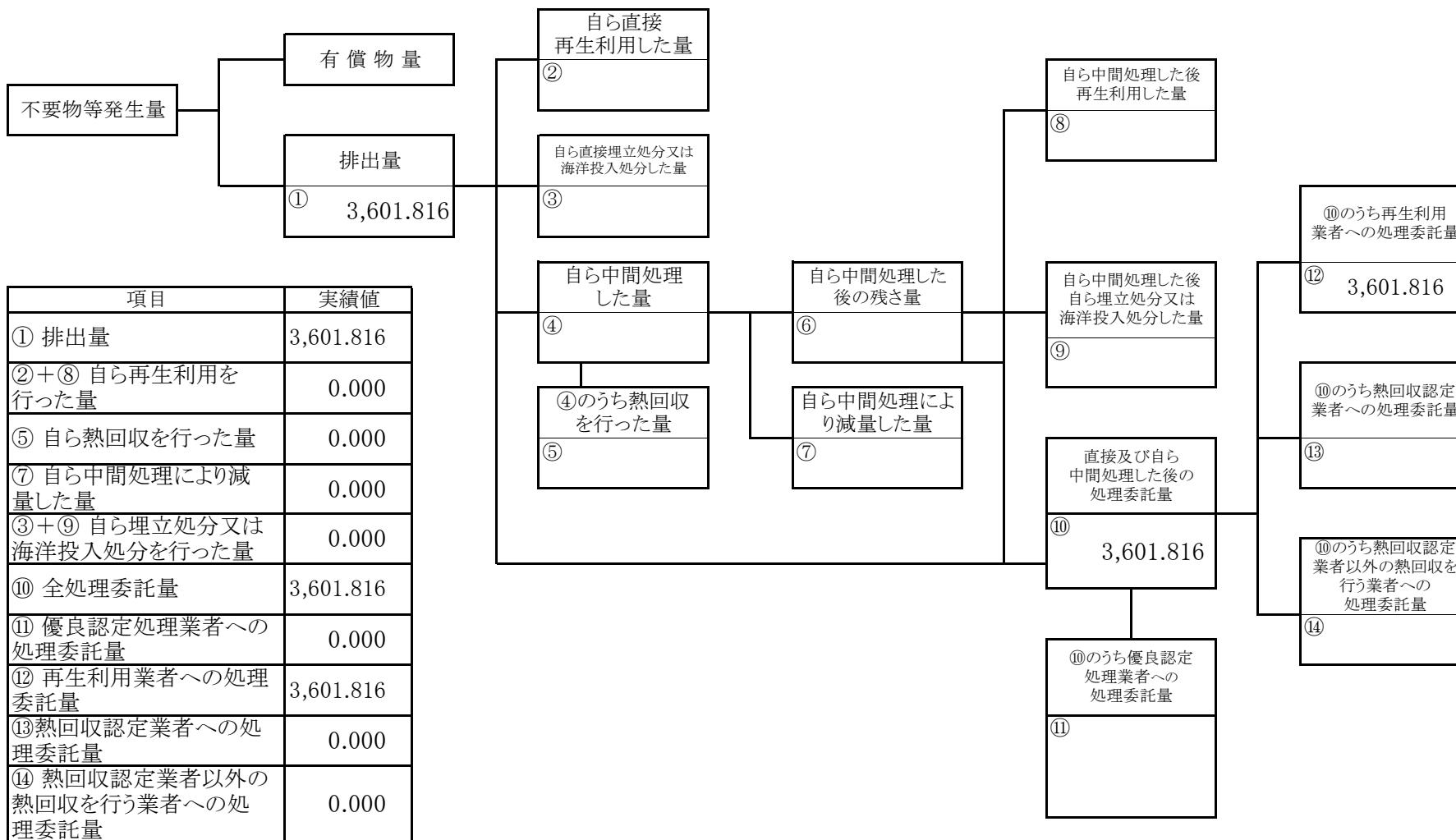


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
富山市長 藤井 裕久 殿		令和 6 年 7 月 1 日	
		提出者 住 所 富山市二口町2丁目6番12 氏 名 林建設株式会社 代表取締役 林 茂 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 076-413-8841	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		林建設株式会社	
事業場の所在地		富山市二口町2丁目6番12	
事業の種類		総合建設業	
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和5年4月1日から令和6年3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	929.00 t	全処理委託量	929.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	優良認定処理業者への処理委託量	－ t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	再生利用業者への処理委託量	748.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	認定熱回収業者への処理委託量	－ t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t
※事務処理欄			

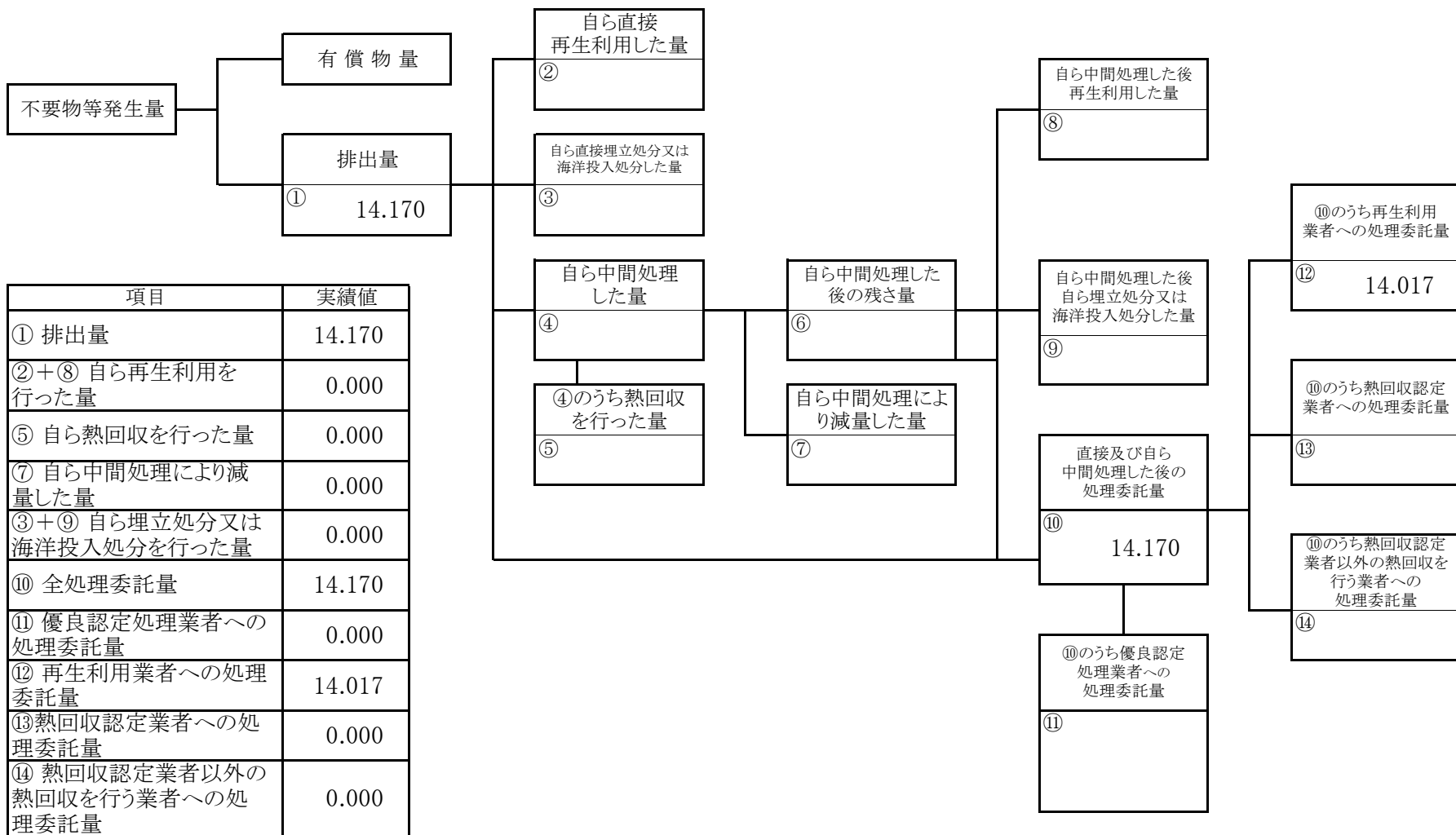
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)



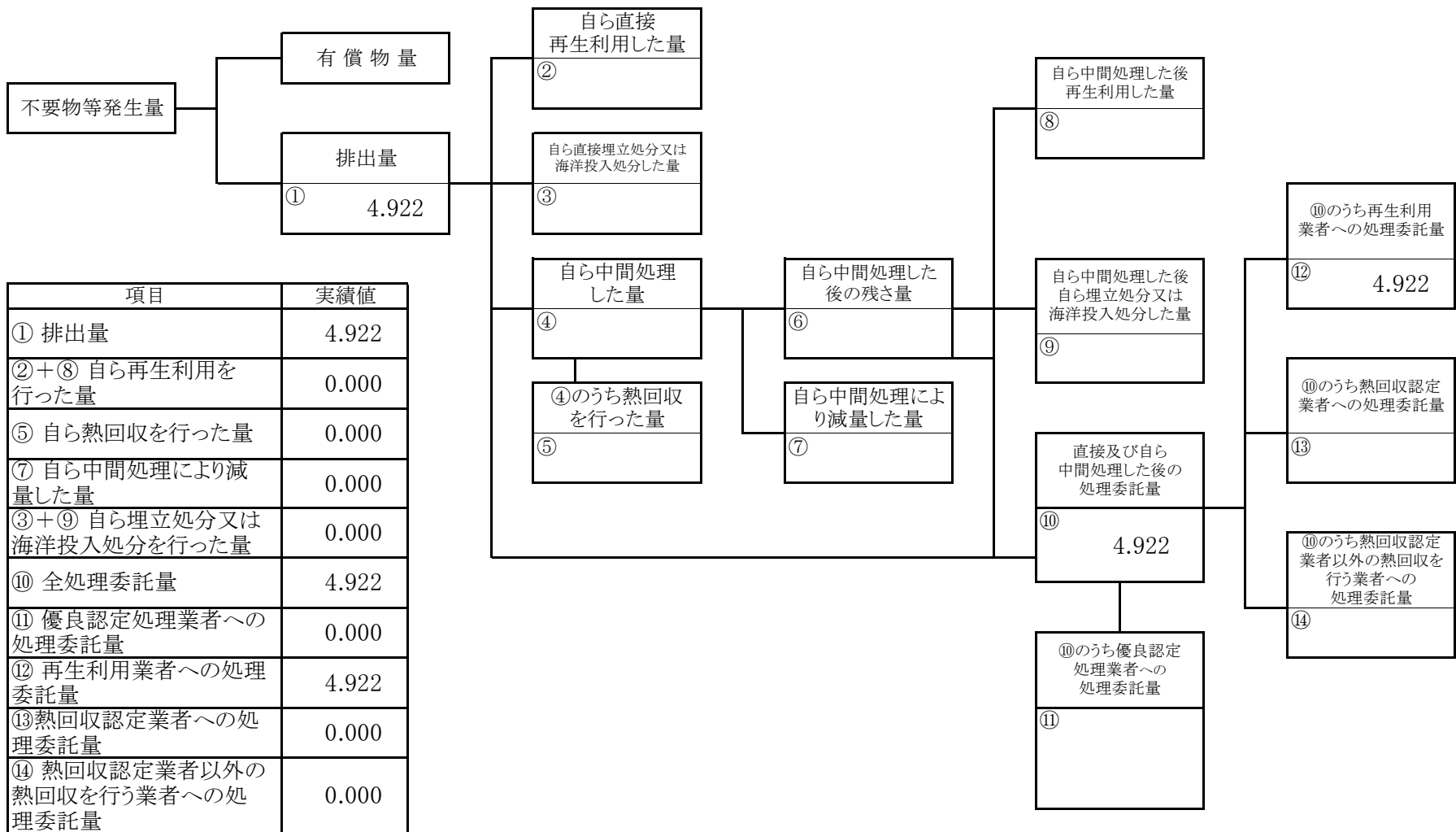
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)



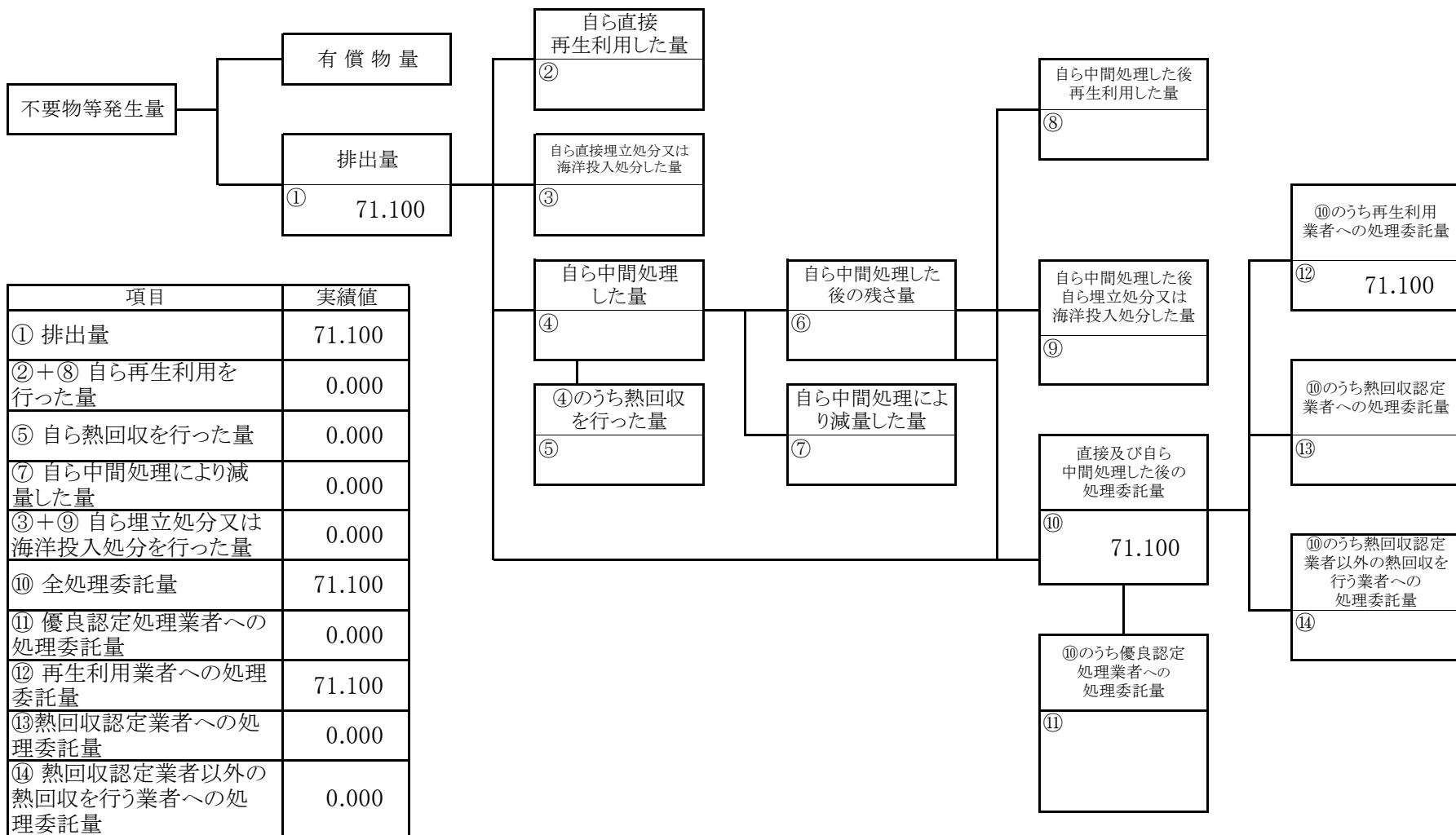
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合廃棄物(安定型))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設汚泥)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.110

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.110

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

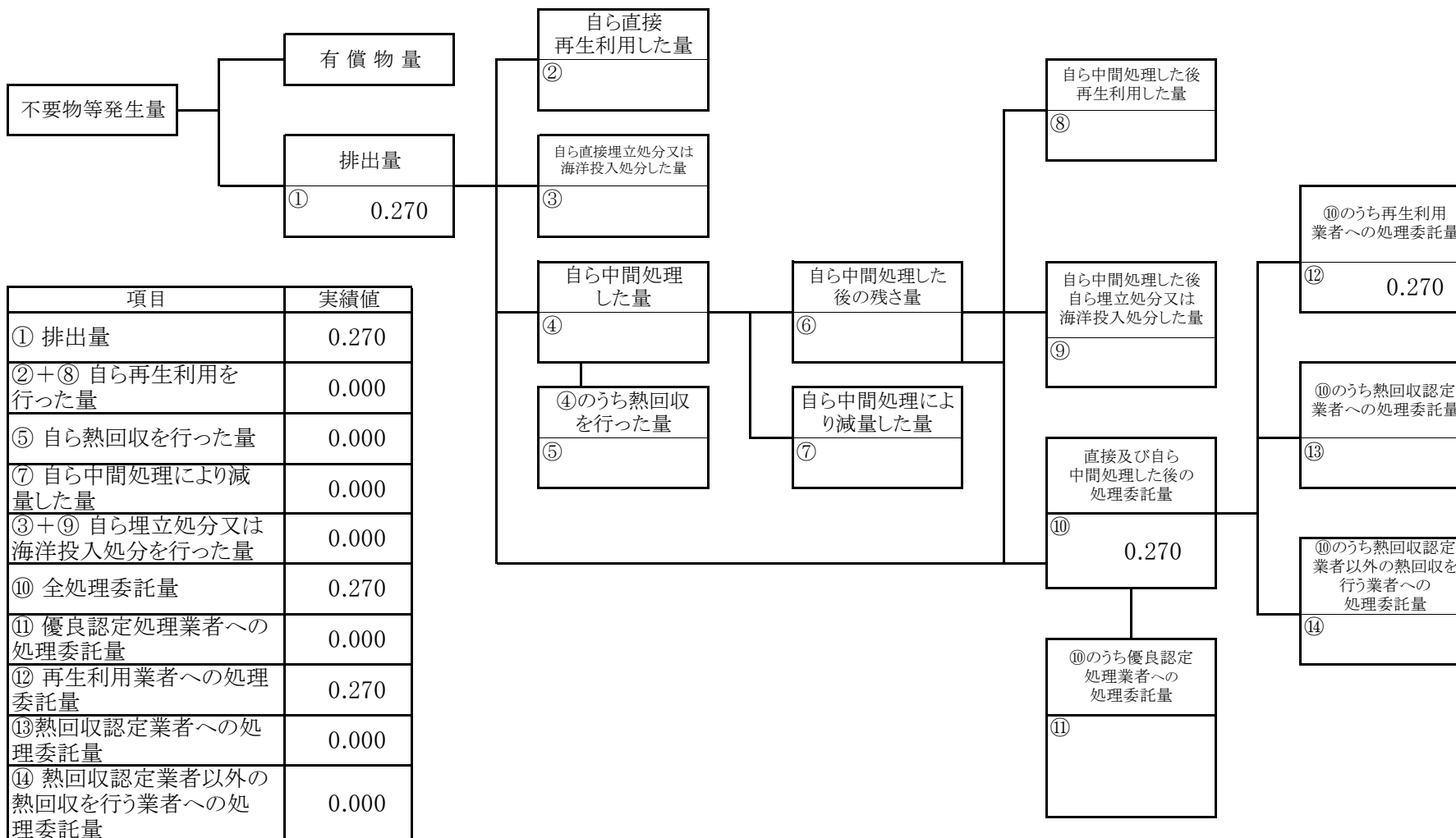
⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収を
行う業者への
処理委託量

⑭

項目	実績値
① 排出量	0.110
②+⑧ 自ら再生利用を行 った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減 量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000
⑩ 全処理委託量	0.110
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	0.000
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000

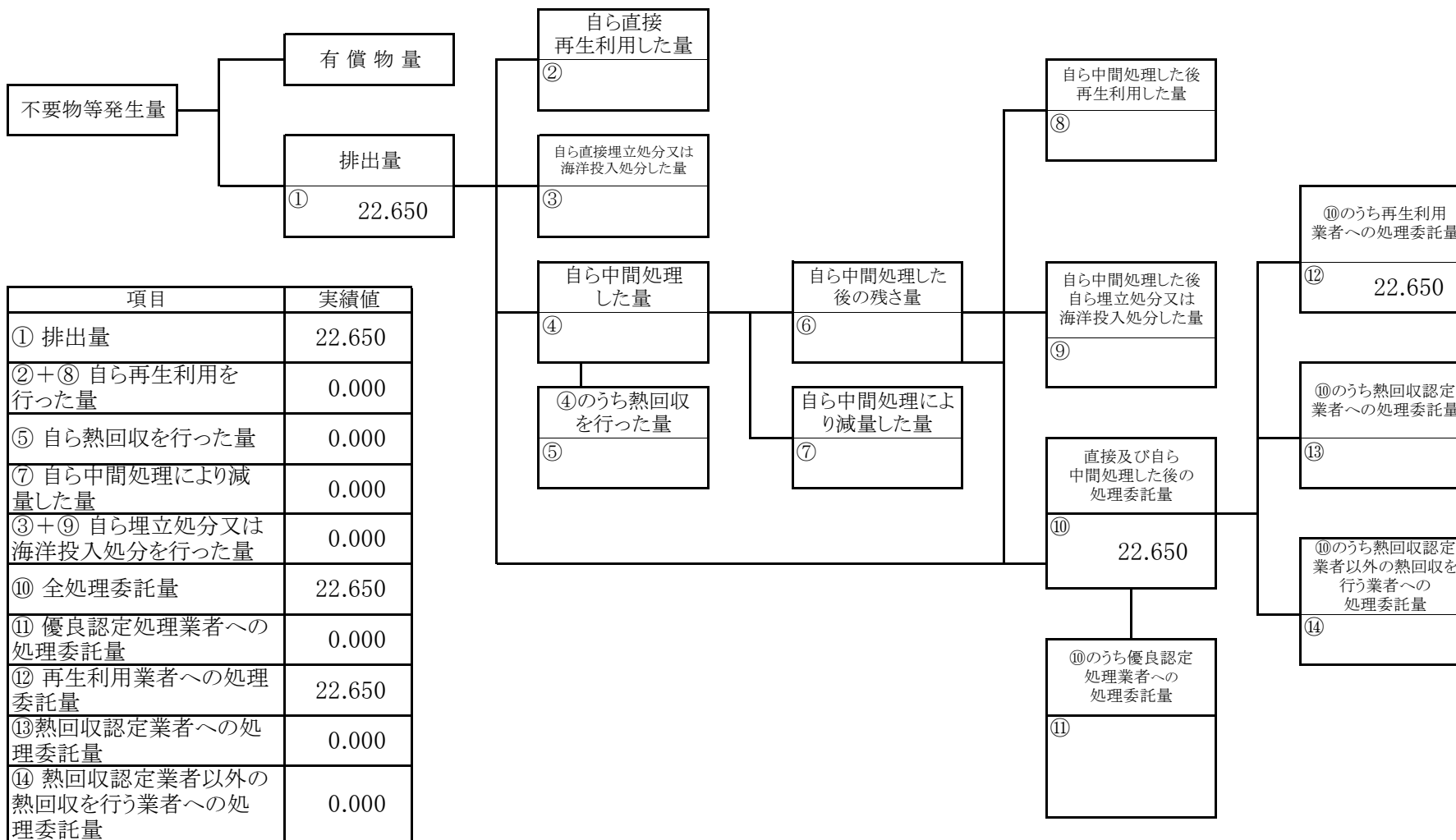
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



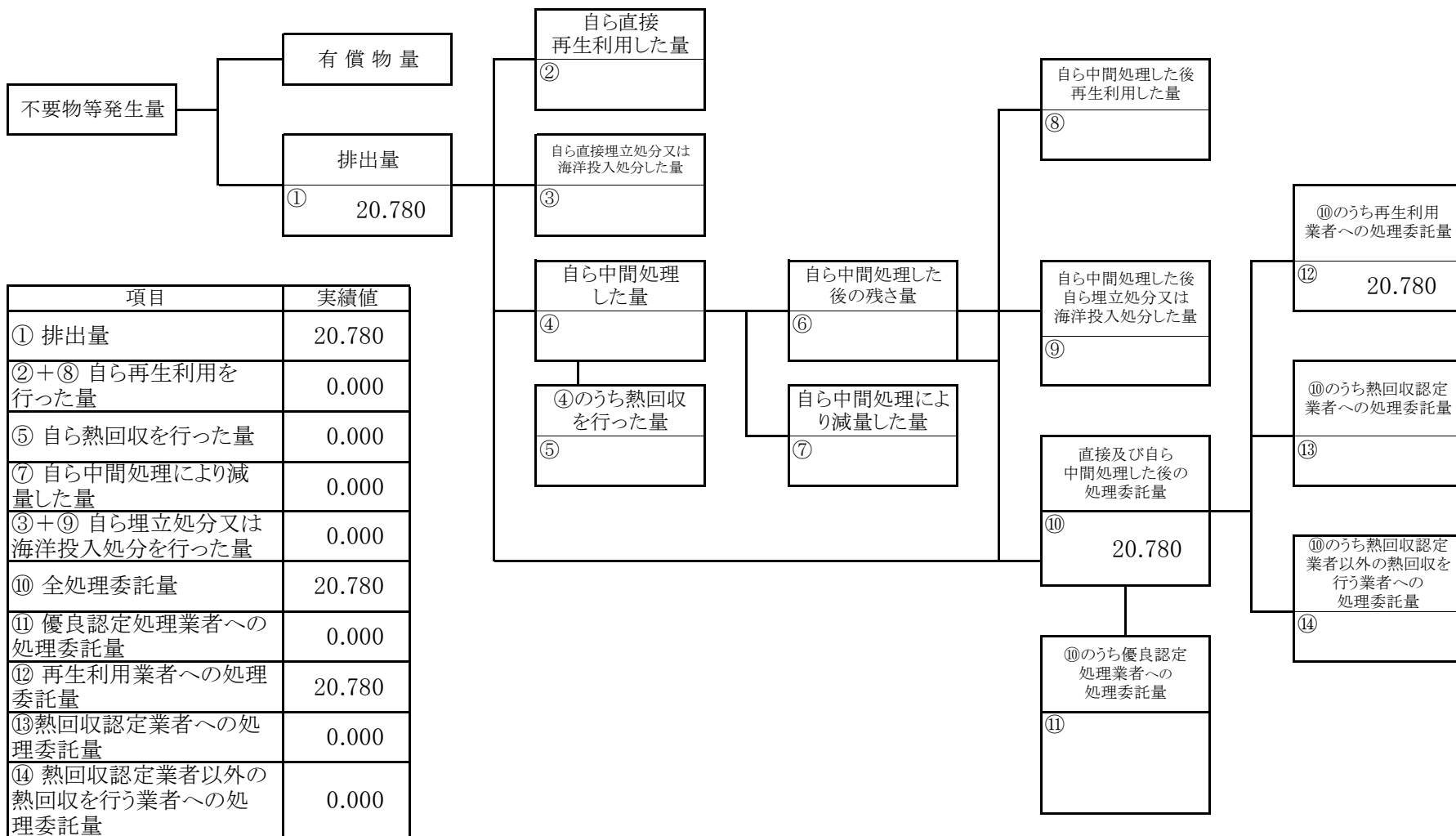
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



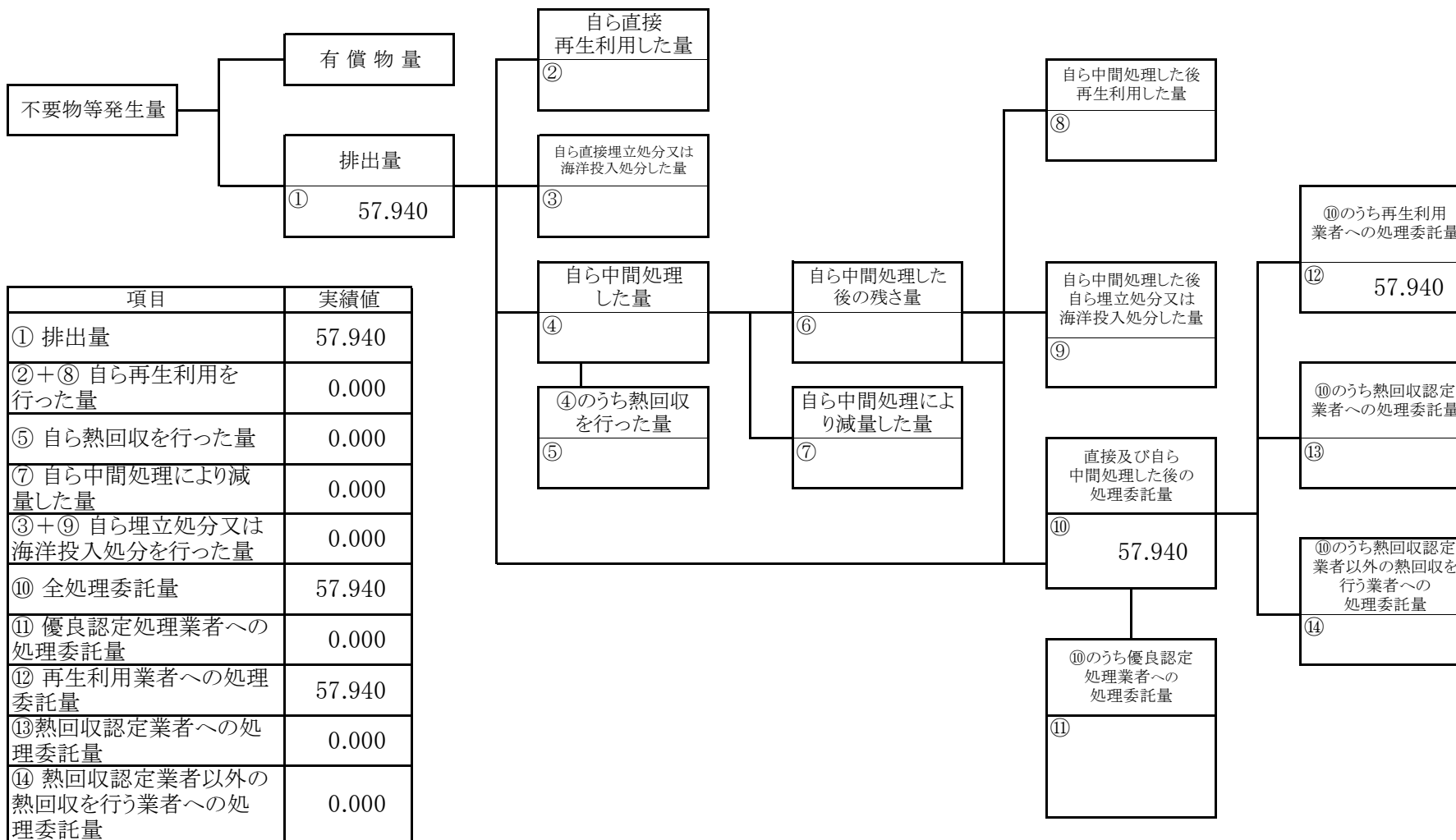
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石膏ボード等)



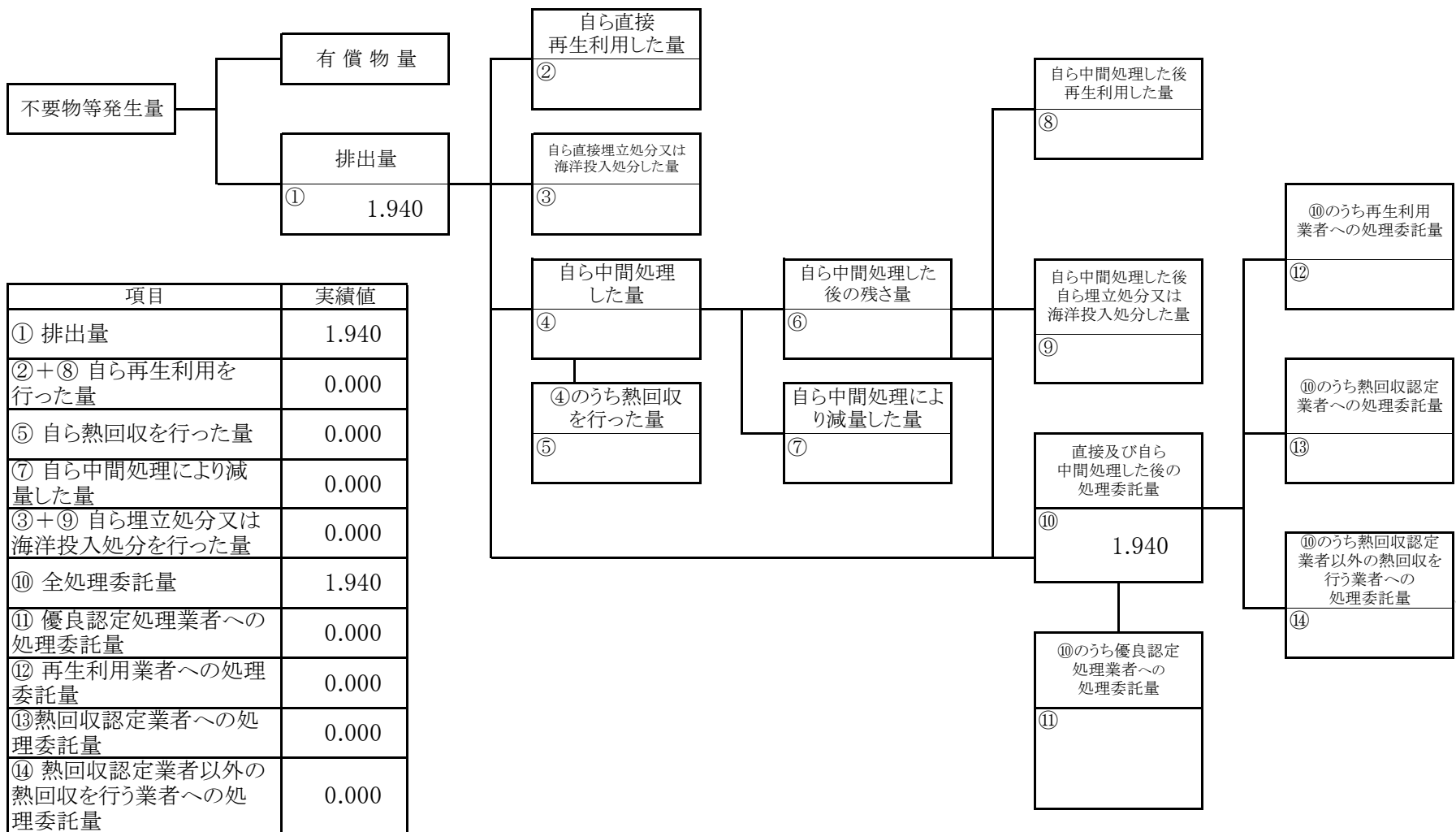
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合廃棄物(管理型))



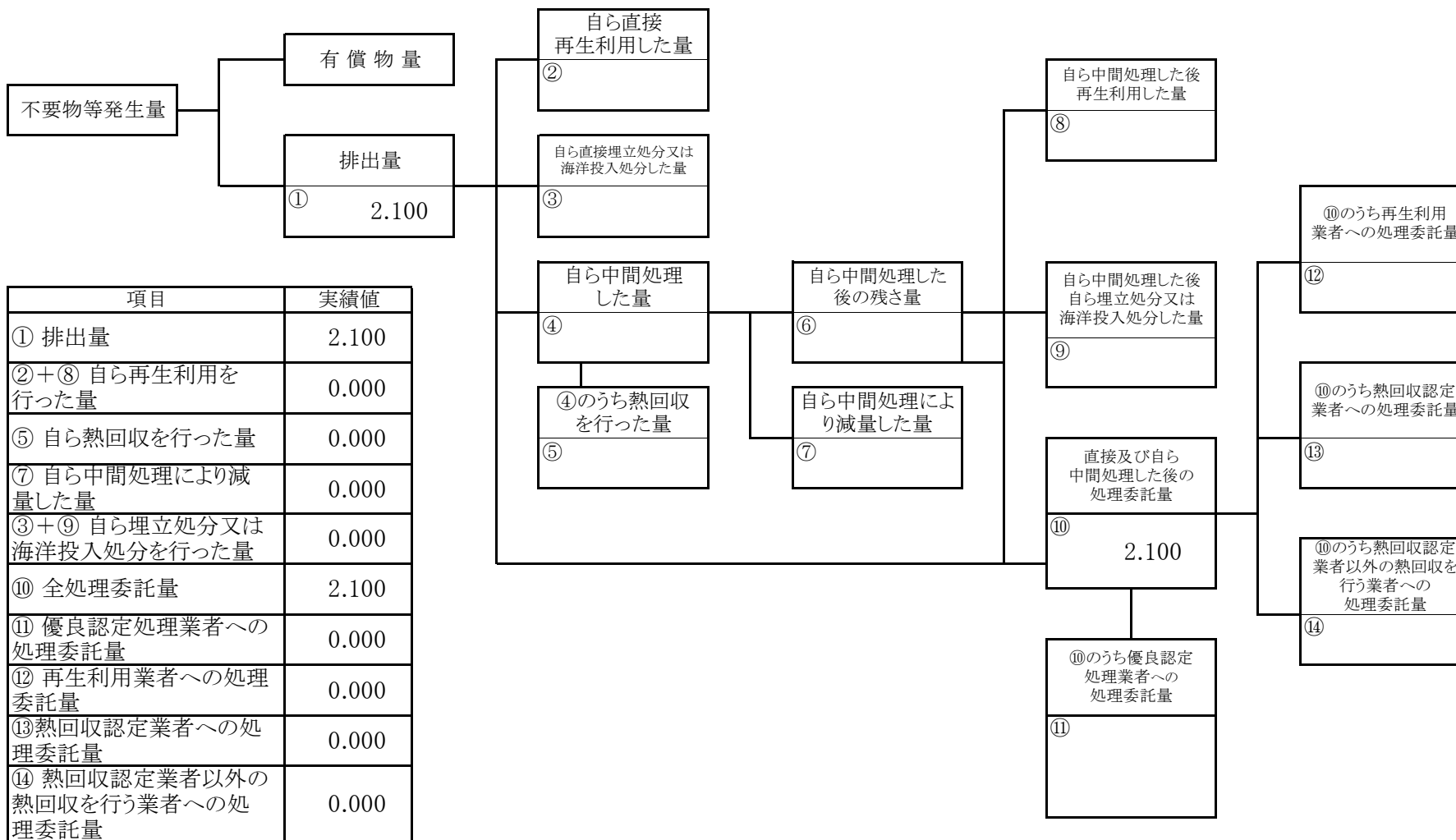
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有廃棄物)



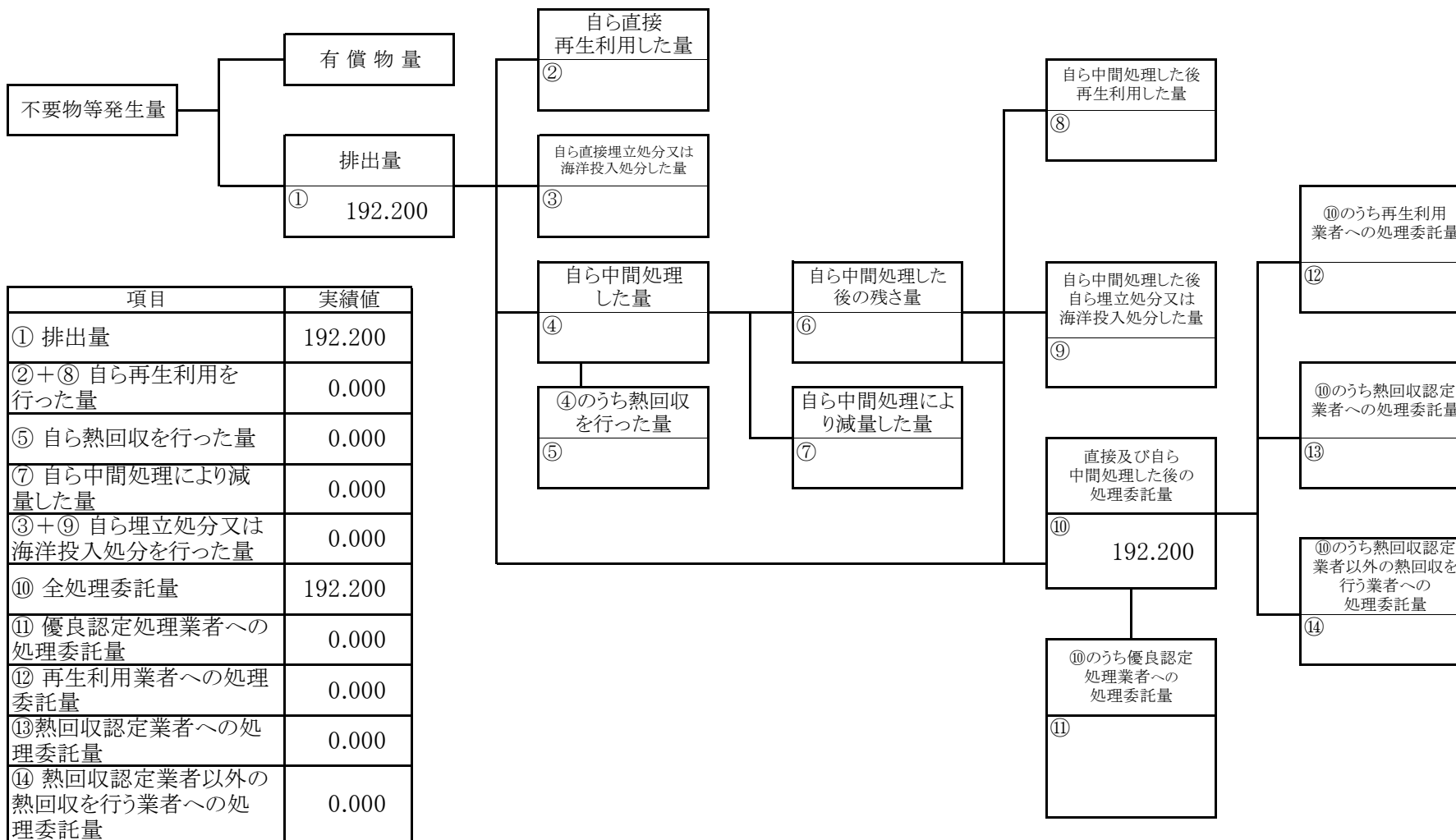
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有(廃プラ)



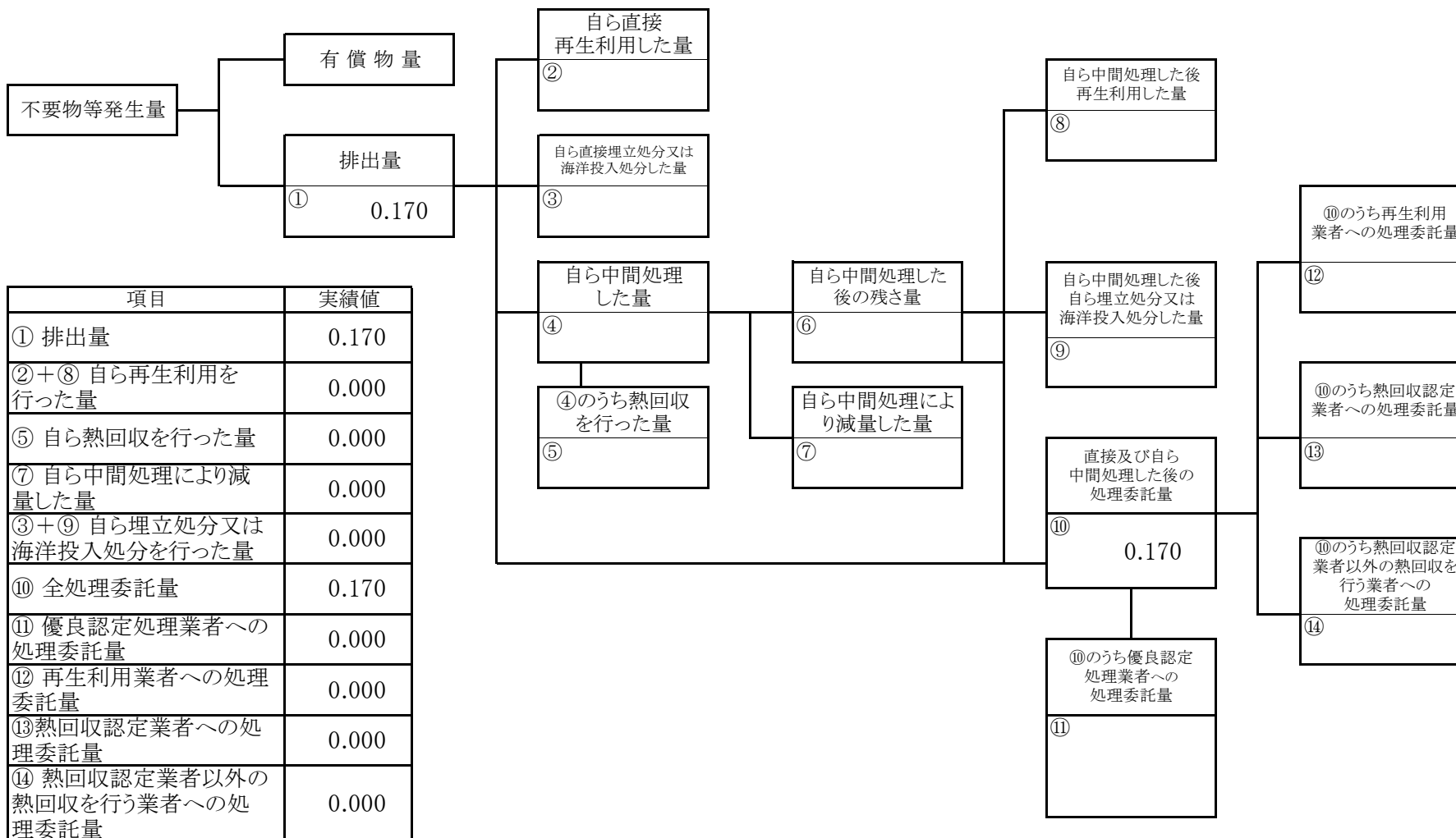
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有(がれき)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯))



(様式第2号の9)産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添
単位:トン/年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥	1.00	0.110									0.110				
廃 油		0.270									0.270		0.270		
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類	10.00	14.170									14.170		14.170		
紙 く ず															
木 く ず	60.00	22.650									22.650		22.650		
繊維 く ず	36.00														
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず	14.00	4.922									4.922		4.922		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類	606.00	3,601.816									3,601.816		3,601.816		
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
混合廃棄物(安定型)	6.00	71.100									71.100		71.100		
石膏ボード	58.00	20.780									20.780		20.780		
混合廃棄物(管理型)	128.00	57.940									57.940		57.940		
石綿含(汚泥)	9.00														
水銀使用製品		0.170									0.170				
石綿含有廃棄物	1.00	1.940									1.940				
石綿含有(廃プラ)		2.100									2.100				
石綿含有(がれき)		192.200									192.200				
計	929.00	3,990.168	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3,990.168	0.000	3,793.648	0.000	0.000

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。